



いいこっつお

教育長のつぶやき

No.89

2025. 9/3

大きく変わった授業！

昨日の小中公開授業は、前日の夜遅くまでの先生方の頑張りもあり、授業が全体で統一され、大きく変化したと言えます。小学生は全て国語の授業でしたが、個別最適な学び・協働的な学びの両方を取り入れ、授業の進め方（時間配分）は一律にして実施しました。

中学校は、これから行なわれる大鹿村の中学生とのリモートによる合同英語授業に向けて1～3年生が英語で村の紹介内容を検討する場面でした。こちらは異学年合同の学びと言ってもいいでしょう。村民が望む具体的な授業像としての中から、個別最適な学び・協働的な学び・異学年合同の学びといった近年の学校で望まれている3つのかなりヘヴィーな要素を加えながら授業に望んでもらったことは大きな力と自信につながりました。

こうした授業が日常的に繰り返されることで、子どもたちもこの学びの方法に次第に馴染み、あとはそこから自分なりの学びに対応できる子どもになっていくと考えられます。

このようなやり方に慣れた子どもたちは、きっと他校に行き今までの学びの形にはめられたときにストレスを感じ、学習の面白さを感じずに勉強が嫌いになるのではないかと心配していますが、そんなことも含め9月の武蔵村山での合同学習で6年生が比較体験してきてくれるものと期待しています。

さて、授業後の学芸大堀田先生と信大佐藤先生によるご講演も、それぞれ15分ほどでしたが、本時の授業とリンクさせ、ICT機器活用の有効性や、ICT機器活用による学びの変化にもついてお話いただくと共に、「深い学び」についてや、学習を行うときに必要となる条件などについて授業の基礎部分やICT活用による学力の向上についてもお話しいただきました。

具体的な授業を見た後に、その授業の意味づけを細部にわたり行なっていただき、具体的な姿を通して学ぶ機会となりました。

また、最後のグループワークでは、講師の先生のお話や本時の授業について参会者が感想や意見を出し合い共通理解を図るよい機会になりました。様々な質問が栄小中の先生に投げかけられましたが、その質問に熱心に答える先生方の姿は実にハツラツとし、自分たちの今までの実践に自信を持っている印象を受けました。

一昨夜は業務改善とは全く真逆で夜遅くまで残り、指導案の検討などをされていた先生方ですが、協力して同一の方向を踏まえ指導案をそれぞれの学年で作成するといった経験も少ないでしょうから、また一つ自分の中の経験値が上がり自信につながったことでしょう。



参会された先生方からは、子どもたちの学びに対する集中力のすばらしさや、質問してもしっかり自分の言葉で返してくれる子どもたちの自信が見える様子、そして TOCO-TON の取り組みがかなり進んでいるとのご意見や、栄小中はとにかく県内でもかなり先進的な取り組みを行っているというご意見、いい刺激をいただき帰ってから頑張りたいなどのご意見をいただきました。



県教委松本次長からもこれほどの授業改善や先生方の取り組みがあるとは想像以上で驚いた、今後ともまた実践を重ね県内のリーディング校として頑張ってもらいたいという激励のお言葉もいただきました。

いずれにせよ、場所は狭く暑い中での公開でしたが、今までにない授業のあり方を参会された先生方に良いお土産としてお持ち帰りいただけたことと思います。こうした授業改善の流れが県内に益々広がる事を切に祈っています。～お疲れさまでした～

